



2018/02/20

43号線下流側 塩水浸透対策旧矢板打ち+堤防強化工事



2018/02/20

43号線上流側 塩水浸透対策旧矢板打ち+堤防強化工事



2018/02/20

43号線橋梁付近で護岸ブロック破碎撤去の様子



2018/02/20

43号線上流側から見た護岸ブロック破碎撤去の様子

## (二)武庫川水系 武庫川 護岸ブロック工事(武庫川町工区)



**この工事は、河川に流れる水の量を増やすことを目的としています**

河口から拡幅されてきた延長線上の拡幅工事が始まった。工事図面を見ると、赤色部分の高水敷が掘削し護岸ブロック工事後埋め戻されるようである。一時的に埋め戻し潮止め堰まで延長後に掘削拡幅されると推測出来る。工事後の景観は大幅に変わるだろう。



道場水標付近で河床掘削工事中 (JR 車中から撮影)



今津水門の杭打ち工事。軟弱地盤で短時間で入っていく



仁川・小仁川合流点の改修状況 雑木全部伐採された。



甲子園浜で草が焼かれた。原因不明



7号堰下流の堆積土砂浚渫工事が始まった



7号堰浚渫工事前の堆積状況

河口部では、拡幅関連工事が潮止め堰付近まで進んできた。堤防強化・塩水対策工事も潮止め堰より上流部まで進み潮止め堰撤去、河床掘削へ進んでいくものと思われる。工事の進捗と同時に川沿いの雑木が伐採され殺風景な感じになってきた。

43号線橋梁付近では微妙に松を避けて塩水対策工事が行われたが、今後進められるであろう、拡幅・護岸ブロック工事では高水敷が狭くなり、今ある松は精一杯お保護に努められるであろうか、高水敷の形状が変われば景観も大きく変わると思う。変わってしまった以前の景観も忘れられ、摂津名所図絵に描かれていた景観も過去のものになるだろう。

道場の新名神橋梁付近では、昨年に引き続き河床岩盤掘削工事が行われ、仁川と小仁川の合流点でも改修工事が行われ、河床に敷き詰められた石は素人目ではあるが流紋岩で道場で掘削された岩石が使われているように見える。もし、その通りなら掘削岩石の有効活用になり良いことだろうと思う。7号堰下流浚渫工事で発生土砂も何処かで有効利用されることを期待したい。今津水門工事も順調に進捗している。杭は簡単に入っていく軟弱地盤のようで大変な工事のように見える。甲子園浜では何故か草が焼けただけだ。もうすぐ一斉に草が芽吹き綺麗になるだろう。